

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2024年9月30日(月)

NO. 1516号

本号3頁

## 58年前の静岡県一家4人殺害事件再審 袴田巖さんに無罪判決

1966年6月に静岡県清水市(現静岡市)で一家4人を殺害したとして、強盗殺人などの罪に問われ死刑が確定した袴田巖さん(88)に対するやり直しの裁判(再審)で、静岡地裁は26日、無罪判決(求刑・死刑)を言い渡しました。

死刑囚に対する再審の無罪判決は、静岡県島田市で女兒が誘拐、殺害された「島田事件」以来35年ぶりで、戦後5例目です。

2023年10月から24年5月まで計15回開かれた再審では、「5点の衣類」に付着していた血痕が争点となりました。袴田さんは事件当時、みそ製造会社で働いており、5点の衣類は事件から約1年2カ月後、会社のみそタンク内から発見されました。5点の衣類には赤みが残っていたとされ、確定判決では犯行着衣とされていました。弁護側は、袴田さんは事件の約2カ月後に逮捕されており、その前に5点の衣類をタンクに入れたならば、長期間のみそ漬けによって化学反応が起こり、赤みは消えるはずだと主張。捜査機関が袴田さんの逮捕後に入れて証拠を捏造したと訴えました。



検察側は、タンク内の酸素濃度は低く、血痕が黒く変色していく速度が遅いため、赤みが残っていても不自然ではないと反論。証拠捏造について非現実的で実行不可能な空論だ」と述べていました。

袴田さんは確定審の公判でも無罪を主張しましたが、静岡地裁が68年9月、死刑判決を言い渡し、80年12月に最高裁で確定しました。

第2次再審請求審で、静岡地裁は14年3月に再審開始決定を出し、袴田さんは釈放されました。

東京高裁が18年6月に再審開始を取り消す決定を出しましたが、最高裁が20年12月、審理を高裁に差し戻し、東京高裁が23年3月、捜査機関による証拠捏造の可能性に言及するとともに、再審開始を認めて確定しました。

### 捜査機関の者が捏造したとしか想定できない、と結論

国井恒志裁判長は、捜査機関による三つの捏造が認められると言及。自白調書は肉体的・身体的苦痛を与えて得た▽「5点の衣類」は捜査機関によって加工・隠匿された▽5点の衣類の一つであるズボンの切れ端が捏造された一としました。

「5点の衣類」については、検察側、弁護側双方で計5人の専門家証人の尋問の結果を検討した上で、実際に衣類が見つかったタンクでみそ漬けした場合には「赤みを失う」と判断。衣類を袴田さんが隠した可能性は否定され、捜査機関の者が捏造したとしか想定できない、と結論づけました。

### 袴田事件で再審無罪 検察の控訴断念を求める緊急団体署名にご協力ください

日本国民救援会中央本部

日頃の諸活動に敬意を表します。

本日、静岡地方裁判所(国井恒志裁判長)は、袴田巖さんに対し無罪判決を言い渡しました。

検察は、再審公判においても、「5点の衣類」をはじめ、再審請求審で決着ずみの問題を蒸し返し、改めて有罪立証を行って、死刑を求刑していたことから、再審無罪判決に対して控訴をする可能性も否定できません。

事件発生から58年。死刑確定から44年。袴田巖さんは、長期間にわたり死刑囚として身体を拘束されたことによって拘禁反応の症状が見られるなど、心身に不調を来しています。また、巖さんは現在88歳、巖さんを長年にわたって支えてきた姉の袴田ひで子さんも、91歳となっています。お二人の人生にとって残された時間は長くなく、これ以上、袴田巖さんの救済が遅れることは断じて認められません。一刻も早く無罪判決を確定させ、袴田さんが真の自由を勝ちとるために、検察による控訴を断念させるために別添の団体署名にご協力ください。 ※添付します。

# 自民新総裁に石破茂氏 高市氏を抑え選出

27日に行われた自民党総裁選挙は、1回目の投票でいずれの候補者も過半数に届かず、決選投票の結果、石破元幹事長が新しい総裁に選出されました。

## 衆院解散・総選挙「国会論戦を経た上で」⇒「急転解散??」

自民党の新しい総裁に選出された石破茂氏は、初めての記者会見に臨み、衆議院の解散・総選挙の時期について、国会論戦を経た上で、できるだけ早い時期に国民の審判を仰ぎたいと述べました。

◆ところが、29日の日曜討論で、衆議院の解散・総選挙について「閣僚もかわるので国民の判断をなるべく早く仰ぐべきだし、仰ぐだけの材料の提示をなるべく早くしたい。この両方を満たさなければいけない」と述べ、新政権発足後、国会論戦を経てできるだけ早期に国民の信を問う必要があるという考えを重ねて示しました。

その上で「10月中の投開票もあり得るか」と問われ、「いろいろな可能性は否定はしない」と述べ、10月中の実施も排除せず日程の調整を進める考えを示しました。

27日夜、NHKの「ニュースウオッチ9」で、政治とカネの問題を受けて国民の信頼を回復する必要があるとして、党から議員に支給される「政策活動費」のあり方を議論する考えを示しました。この中で石破氏は、党から議員に支給される「政策活動費」について「総裁選挙で『廃止だ』と主張した候補者もいる。領収書の公開が10年後というのは意味があるとは思いますが、期間を短縮することがどうなのか、とにかく全部やめるのか、議論したい」と述べました。その上で「本当にきちんとしたカネなのか、国民が『変だよな』と思っていることを1つ1つ氷解させていかなければならない」と強調しました。

そして、次の衆議院選挙で収支報告書に不記載があった議員を公認するかどうかは、党の選挙対策委員会が地元の支持などを踏まえて客観的に判断すると説明し「議員がそれぞれ説明すればよいという話ではなく、公認権者の私がなぜ公認したかきちんと説明する責務がある」と述べました。

また、石川県能登地方の大雨被害について「即効性があるという意味で予備費の活用を考えたい」と述べ、まずは今年度予算の予備費で対応する考えを示しました。

石破茂氏は、両院議員総会であいさつし「日本国をもう一度、皆が笑顔で暮らせる安全で安心な国にするために全身全霊を尽くす」と決意を述べました。この中で、石破氏は「岸田総裁が大変な決意をもって、自民党が生まれ変わるように、もう一度国民の信頼を取り戻せるように、職を辞す決断をされた。私たちは一丸となってそれに応えていかなければならない」と述べました。

## 記者会見では、「日米地位協定改定・米に自衛隊の訓練基地つくる」と発言

また、総裁選挙で掲げた日米地位協定の改定に向けた検討について「対等な地位協定というのは何か、今まで他国がどのように地位協定を改定してきたかをきちんと検証する。そして、アメリカに自衛隊の訓練基地をつくることは極めて有効なことだと思っている。アメリカで、陸上自衛隊、航空自衛隊が持てる能力を最大限に発揮するような訓練基地は、日米同盟強化のために極めて有効であり、具体的な案件から取り組んでいきたい」と述べました。

## 派閥解消後の総裁選?? 結局、多くの候補が麻生派頼み

投開票日を2日後に控えた25日。「24日に、小泉進次郎候補が東京都内で麻生太郎副総裁と面会」というニュースが流れ、党内に波紋が広がりました。「総裁選が終盤になり、報道各社の世論調査も活発になっています。序盤戦は小泉氏が議員票、党員票ともにトップになることが多かったのですが、中盤から終盤にかけて、各候補との論戦が重ねられると頼りなさや、政策実現への疑問が露呈、支持率は下降傾向でした。

こうした危機感から、小泉氏は麻生氏に支持を要請したものとみられています。自民党内で唯一、派閥を解散していない麻生派には、54人もの議員が名前を連ねています。小泉氏にとっては、この票は喉から手が出るほどほしいはずです。

そのような中、麻生副総裁がみずからの派閥の所属議員に高市氏を支援するよう指示しました。これに高市氏は、「もしそういうお心遣いをいただいたのであれば大変光栄だ。皇室典範などについて考えが非常に近い元総理大臣だと思っている」と述べました。

石破氏も前日に麻生派を率いる麻生副総裁の個人事務所を訪れています。石破陣営では「国民がどう見るか、陣営の会議で懸念も出たが、きちんとあいさつして投票日を迎えるという結論に至った」と話しました。

報道されていますように、麻生氏は、当選し初めてあいさつした石破氏に拍手をしませんでした。結局、総裁選はあいかわらず「派閥頼み」だったのではないのでしょうか。

## オスプレイ米国で出火事故 防衛相は飛行停止には否定的

今月 18 日、米本土に配備されている海兵隊の MV22 オスプレイがエンジンから出火する事故を起こしていることが明らかになりました。

MV22 は米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）に配備されている機体と同型機です。昨年 11 月の鹿児島・屋久島沖での米空軍横田基地（東京都）所属の CV22 オスプレイ墜落事故を受けての飛行停止措置が今年 3 月に解除。それ以後、最初の重大事故です。

米海兵隊の発表によると、事故が発生したのは米西部ワシントン州のフェアチャイルド空軍基地で、地上で通常任務にあたっている際、エンジンから出火したということです。負傷者はありませんでした。原因は調査中としています。

昨年 11 月の CV22 墜落事故は飛行中にエンジンから出火し、機体が制御不能に陥ったことで発生。重大事故がいつ起こってもおかしくない状況であることが鮮明になりました。

一方、米空軍特殊作戦コマンドのコンリー司令官は 18 日、米国内で行われた航空宇宙・サイバーに関する会議で、近く CV22 の海外展開を再開させる考えを示しました。ただ、米軍は今年 3 月の飛行再開後も、30 分以内に安全着陸可能という制限を設けていますが、海外展開においてもこの制限は維持されるとしています。

米空軍は保有する CV22 の全面運用再開を進めていますが、コンリー司令官は、配備されている 51 機のうち約 60% が全面運用に移行し、残りは 25 年前半までに移行すると表明。横田所属機は依然、全面運用再開に至っていないとしています。

### 防衛相「情報提供を求めているが連絡なし」それでも「安全性は問題ない」と発言

木原稔防衛相は 24 日、米国内の空軍基地で発生した海兵隊輸送機 MV22 オスプレイの出火事故について、製造企業や米軍側からエンジンや部品の不具合に関する連絡は来ていないと明らかにしました。一方、オスプレイの安全性は「累次の機会に確認しており問題ない」とし、飛行停止には否定的な考えを示しました。木原氏は、事故に関して米側に情報提供を求めていると強調。「引き続き日本国内に配備されているオスプレイの安全確保の徹底を求める」と述べました。

一方、オスプレイの運用を統括する米軍のプログラムオフィスや機体の製造企業から「不具合がクリティカル（危機的）であれば連絡が来てもおかしくないが、現時点では来ていない」と説明しました。米側は出火原因などについて調査を進めていますが、沖縄や他地域に配備されている MV22 の飛行訓練を停止する予定はないとの見解を示しています。

### 維新混乱 執行部は衆院選で立民との選挙協力を慎重姿勢示すも

厳しい状況に追い込まれている日本維新の会の両院議員総会が開かれ、出席者から、次の衆議院選挙での立憲民主党との選挙協力を求める意見が出されたのに対し、馬場代表ら執行部は「政策の一致がなければ野合とも取られかねない」として慎重な姿勢を重ねて示しました。

日本維新の会は、次の衆議院選挙に向けて、今後の党運営のあり方などを話し合うため、25 日午後、両院議員総会を開きました。冒頭、馬場代表は、3 年前の選挙で推薦した兵庫県の斎藤知事がパワハラ疑いなどで告発された問題などに触れ「党に以前の勢いはない。本当に苦しいが頑張りたい」などと結束を呼びかけました。

総会は、およそ 2 時間半にわたり、出席した議員からは、次の衆議院選挙に向けて「政治改革などで自民党に対する姿勢を強く示すべきだ」とか「野党第 1 党の立憲民主党と小選挙区の候補者調整を行うべきだ」などといった意見が出されました。

これに対し、馬場氏ら執行部は、党内では、与党を過半数割れに追い込む目標は共有されていると指摘した一方、立憲民主党との候補者調整については「政策の一致がなければ野合とも取られかねない」として、慎重な姿勢を重ねて示しました。

総会のあと藤田幹事長は「国民が選挙での野党間の共闘を求めているかは懐疑的だ。お互いに正々堂々と支持を拡大し、与党の過半数割れを目指すことのほうが理解を得られる」と述べました。

### 浅田参院会長「政策活動費 どのように使われたかチェックを」

両院議員総会に先立って行われた役員会では、浅田参議院会長が党内で支出された政策活動費めぐり「次の衆議院選挙では政治とカネが大きな争点になる。幹事長からは『政策活動費は廃止する』と聞いているが、これまでどのように使われたのかチェックする党内チームの立ち上げが必要ではないか」と指摘しました。